

平成31年 2月24日

第10回 新木地区地域会議 議事録

- 1 開催日時 平成31年 2月24日(日) 10:00~
- 2 開催場所 新木近隣センター 多目的ホール
- 3 議 事 司会進行 新木地区地域会議事務局長

(1) 開会挨拶 事務局長 10:00

(2) 我孫子市長 挨拶 10:05

新木地区のみなさんにはいつも大変感謝しています。地域会議の目的はコミュニティの活性化、そして地域の皆様がそれぞれの地域の中で課題の解決、および自主的な活動を行う「自助・公助・共助」にあります。平成25年に地域コミュニティ活性化の基本方針ということで資料策定をしまして、この少子高齢化などさまざまな課題が懸念される中、その地域の中で自分たちの課題は何なのか、市役所としては全体の課題は何なのか、それが合致しているかを確認させていただきながら考えていくという仕組みが地域会議の大きな目的となります。

それぞれの地域によって最優先課題は高齢化・ゴミだし・防災など変わってきます。市が課題を決めるのではなく、地域の皆様で考えていくというのが、この地域会議の意味となります。

(3) 意見交換おしゃべり 10:30

「地域会議の開催テーマ」

安全・安心住みよいまちづくりに向けて

「買物環境の支援」の現状把握について(その3)

イ「新木野暮らしのサポートセンター」について 10:35

新木野ネットワーク

- 1 新木地区における高齢者見守りネットワーク 見守り活動推進
 - 2 新木野暮らしのサポートセンターの進め方
 - 3 道路運送法の規制確認
 - 4 新木野暮らしのサポートセンターの目指す方向
- 生活支援サービス ゴミだし 庭木の手入れ 送迎サービス

ロ 総体意見交換

10 : 50

全体討議（おしゃべり）

今、求められている支援

今、出来る支援

今、自分が出来ること

（押し付けない・理解を分け合う・聞く耳を持つを基本に
発言をいただき {見える化} を図りたいと思います

- ・高齢者のニーズに対して協力者の数字が少ないといった厳しい面もありそうだが、介護認定受けている方はタクシー券を活用してもらうなどで補っていけると思う。
また成田屋だけでなく他にも移動販売している地域も多くあり、市全体として湖北未来さんに話を持って行ければよいと思う。
ここに出席されている方々も平均年齢が高く、実際に災害が起こった時にできることが限られる。
 - ・少子高齢化も課題であり、若返りを考えていく必要がある。
→高齢化により集まるのも厳しくなっていることもある。まちづくり協議会の方でも高齢化は大きな課題になっている。
 - ・あびバスにて、帰りが困る方が多いと思う。カスミの横の拡張工事が終わったら南新木野ロータリーまで入って欲しい。行きだけでなく帰りも使いやすいように気を使ってもらえればと思う。
→運行本数を増やすのはなかなか難しいらしい。意見があったこと含め、交通課の方に話をしていきたい。
 - ・「新木野暮らしのサポート（仮称）」に「手数料の受け取り」という表現が気になったが、手数料とはどういう考え方でどのくらい受け取るのか？
→まだ検討案の段階であるため中身の詳細は調べていない。
→平成 18 年の道路運送法の改正で規制対象外として特例がある。
 - 無料は規制を受けない
 - ガソリン代・高速代・駐車場代など実費は規制対象外
 - 幼稚園／病院などの送迎は無料であれば規制対象外
 - 地域コミュニティが生活支援上のサービス（草取り、ゴミ出しなど）で、
全て同じ金額で手数料体系が均一であれば規制対象外
- 調べてみると金額は全国でピンキリであった。利用者は会員登録する必要があるが新木野地区では年会費フリーにする考え。手数料も時間単価 600 円、800 円、1200 円など各団体に決めている。新木野地区はなるべく低料金で考えているところ。他のメニューと合わせて抱き合わせでやっているところが多く、送迎単品で行うのはレア

かもしれない。

- ・今回の日大の学生さんのレポート、どのように運用しようと考えているか教えてほしい。

→今後の課題として続けていきたいと思っている。

- ・昨年6月に上新木台自治会から、新木駅北口～湖北台北口へ走っているが、行政サービスセンターまでノンストップで走ってしまう。停留所を置いてほしいと要望した。市はどのような対応したか？

→交通課からの話では、坂東バスのルートなのでお客を市のバスが拾ってしまうことになり、坂東バスの撤退もありえる。そうなるとかえって不便になり現状では難しいとのこと。

→今回お話が合ったことは市の交通課の方に話していく。

- ・防災の件で今年から市にお願いしており、中学生に対して防災協力を推進し、ボランティアをやっていきたいと思っている。より若い人たちに指導していくため、災害支援ボランティアの指導者の立場で参加していただきたい。

近隣センターは、防災支援を継続していきたい。各自治体で防災支援隊を作って各自治体でお願いしたい。若い方にやっていただかないと、中・高・大学生に多く参加していただきたい。

→支援センター、関係者と3/16にお話しをする準備が進んでいる。

- ・個人的にはこんなに安くて大丈夫かな、という気はする。人はお金を払って利用するともっと十分元をとろうと考える。途中で値上げは大変なので、料金設定は少し高めに設定していくのも必要かと思う。とりあえずは走り出してってもらいたい。
- ・値上げ提案だが、私もそう思う。本当に買い物に困難な方を対象にイメージされているかもしれないが、もっと自由に使えるものと考えればよい。地区社協で買い物支援をやった。距離、荷物。日にち／行き先を決めて有料で送迎。買い物先は千葉ニュータウン。マイクロバスを使った。利用者は想定していた方ばかりでなく、美容院、映画鑑賞という方も結構いた。想定とは違うが生活の中で潤いをもちたいと思う方など、そういう方がいらした。本当に困って動けない人だけでなく、もう少し枠を広げて脚がなくて困っている、といった枠を広げてもらえないか。ご近所の足の悪い方と一緒に登録して買い物してといった横のつながりもでてくるのではと想像した。横のつながりを強めるツールになりえる。必ずしも買い物難民だけでなく、潤いを求めている方も含めていただきたい。

- ・民生委員について

→民生委員・児童委員とは法律で定められたボランティア。任期は3年。相談相手であり解決する人ではなく、実際の解決は市に相談。地域の情報交換についても民生委員の方とお話しして、もっと利用していただければと思う。

民生委員はやる人がいなくて定年を延長している。来年11月は定年が多い。民生委

員は地域で選んでいくのが望ましい。このことを皆さんで受け止めていただき、自治会の委員を選ぶように民生委員を選んでいければと思う。そうしないと制度が続かない。そんなに難しい仕事ではない。ぜひ地域の中で選んでほしい。

・社協について

社協もなり手が少ない。買い物難民に対する先進的な取り組み、新木野地区は H24 年に見守りネットワーク、これは千葉県から表彰。ふらりえ新木野、自由に立ち寄っておしゃべりなど。非常にユニークで前向きな活動をしている。私も非常に感心しており、大きな敬意を表する。

・見守りネットワークにて、介護のときに「うちの民生委員が誰だかわからない」という声が聞かれる。各地区に民生委員を知らせたらどうか？

→担当の民生委員が分からない場合は、社会福祉課に聞けばすぐ答えてくれる。自分は連絡先を入れているが、人によっては迷惑電話がかかってくる場合もある。

・秘密事項は守らなければならないが、見守りネットワークでは要支援者が 67 名いる。

見守りネットワークにマップで地区毎に民生委員が分かるようにしたい。

→今後検討していきたいと思う。

・自治会長も交代されるかと思うが、このような会議は継続していかないと暮らしやすい環境を作れない。過去 3 回買い物支援にテーマを絞って話してきたが、

・今後は 3 つを進めたいと思う。

○移動販売 必要な地区には推進していきたい。

○お助け支援 まち協も支援したい

○交通の利便化

・有償ボランティアを立ち上げていくということで、新しい人が入っていく必要がある。小中高生にも PR していく可能性もあるのではないか。またベビーシッターのようなサービスも有用かと思う。

・新木団地自治会で空き家が目立ってきて、心配になっている。人口が減っていくことへの対策として自治会を超えて広い課題になっていくのではと思う。人口減の対策にもなるので、交通インフラの整備はとても必要性を感じている。終電を遅くするといった対策もあるといい。地域のつながり／連帯があるというのはとても良いことである。

・働き方改革により先生も勤務時間が短縮される。このため P T A だけでなく地域の協力が不可欠となっていく。少子化の問題も含め、できれば次回からの地域会議議題に含めてもらえればと思っている。

・講演で地元の農家やカスミなどに声かけて月に 1 回の市を開くというのも買い物難民の解決の一つにはならないか (エンジョイ市)

→いろいろ組み合わせていきたい。

- (5) 我孫子市市民活動支援課課長補佐
地域会議 アンケートについて
集計後次回で報告 11 : 45
- (6) 新木地域会議 感想アンケート
別添の通り
- (7) 閉 会 12 : 00
別紙の通り
- 4 出席者
- 5 次回予定日 平成31年 6月23日(日) 10:00~12:00